

# 地域活性化支援の取組状況

## 地域における地方創生事業への参画



### 当金庫が2021年度に参画(協力)したプロジェクト等(抜粋)

当金庫は、地域の活性化や雇用の創出に向け、各地域が企画される新たな地域創生事業の創造を支援するとともに、当該事業への参画に積極的に取り組んでいます。

#### ●日本遺産認定「銀の馬車道・鉱石の道」関連事業への協力

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」のエリア内外への知名度向上や当地への来訪者の増加を目指す2つのサイクリングイベントに、スタッフとして参加しました。

今後も「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力を発信するため、関連事業への積極的な協力に努めます。



- ・2021年10月30日(土)開催  
JR播但線を利用した第4回「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン
- ・2021年11月20日(土)開催  
鉱石の道サイクリングルート(生野-神子畑-明延)を回る「鉱石の道サイクリングエクスペリエンス」

#### ●市川町の特産事業振興への協力



神崎郡市川町は、「国産ゴルフアイアン発祥の地」として、自治体、商工会やアイアン製造業者を中心に、様々な取組みが行われています。2021年度は、町内の全小学校において、直接ゴルフクラブに触れ、体験するイベントが実施されました。

ゴルフを通じ、まちへの誇りや愛着を持つ『シビックプライド』の企画として、今後も継続して開催される予定であり、当金庫も委員として積極的に関わっていきます。

#### ●加古川市「かわまちづくり」を応援

加古川市は若い世代の人口減少対策として、JR加古川駅周辺や加古川河川敷を「潤い」と「憩い」と「にぎわい」などがあふれ、魅力を感じる都市空間として創造する「かわまちづくり」に取り組んでいます。

当金庫は周辺商業者の活性化につなげるため、信金中央金庫の地域創生推進事業を活用するなど、駅周辺のまちづくりに積極的に関与しています。



## 芸術・文化活動

### 但陽美術館(但陽会館)・本店ギャラリー



[但陽美術館本館・別館]



[但陽美術館東館]



[本店ギャラリー]

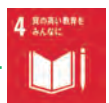


朝来市生野町にある但陽美術館本館・東館には、近代日本の洋画の先駆者、生野出身の三大画伯、青山熊治・白瀧幾之助・和田三造をはじめ、当金庫所蔵の作品を展示しています。また、2019年度に改装した別館には、18～19世紀のバルビゾン派の絵画を展示しています。是非ご覧ください。

お問い合わせ  
但陽信用金庫 生野本部 TEL.079-679-2253

加古川本店2階のギャラリーには、東ヨーロッパ出身の多くの画家のうち、9人の作品21点を展示しています。ヨーロッパを代表するポーランド出身の画家ザンツをはじめ、現代印象派のオルシェウスキー、ハンガリー平原派のポーナなど、当金庫所蔵の作品の一部をご鑑賞いただけます。

お問い合わせ  
但陽信用金庫 総務部 TEL.079-422-7721



## 地域貢献(密着)活動



### ●「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など 継続して取り組んでいる活動

～ボランティアを始めて27年～

当金庫は、阪神淡路大震災以降、27年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣する形で、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。



移送サービス

そのほか、

- ・高齢者宅(約2,300軒)へのケア訪問
- ・職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
- ・「認知症バリアフリー宣言試行事業」への参加
- ・食品ロス削減活動への協力
- ・全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の継続開催
- ・「こども119番の店」への登録
- ・献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力などの活動を継続しています。



「認知症バリアフリー宣言」の  
ロゴマーク



認知症サポーター  
養成講座



全店ATMコーナーに  
AEDを配備



普通救命講習



こども119番の店



献血協力



骨髄バンクドナー  
登録会開催

### ●創業95周年にあたり各自治体へ寄贈を行いました



2022年4月27日(水)、当金庫理事長が加古川市を訪問し、岡田康裕市長に寄贈目録を進呈。加古川市から感謝状を拝受しました。

加古川市は、この寄付により、未来を担う子供たちの成長を支援するため、市内3カ所の子育てプラザ等に電子ピアノ、遊具、玩具を購入し、市内小中学校41校に図書を購入される計画です。

当金庫は、地域経済・社会の持続的発展と地方創生に貢献したく、創業95周年事業の一環として、営業エリア内の以下の自治体5市5町に対し、各市1,000万円、各町500万円、合計7,500万円の寄贈を行いました。

加古川市	稲美町
神河町	姫路市
加西市	播磨町
高砂市	朝来市
市川町	福崎町

(寄贈日順)

### ●朝来市にモニュメントを寄贈しました

2022年3月9日(水)当金庫生野本部にて朝来市への「モニュメント寄贈式」を行いました。

このモニュメントは姫路市の彫刻家 牛尾啓三氏の作によるもので、作品名は「オウシ・ゾウケイ 大地からのおくりもの 一林一」。当金庫「創業95周年記念事業」の一環として寄贈したものです。

モニュメントは生野町玄関口(JR播但線生野駅西口広場)のランドマーク・地域のシンボルとして展示されています。



### ●信金中央金庫の地域創生推進事業「SCBふるさと応援団」を活用した加古川市への寄付

信金中央金庫は創立70周年記念事業として、地方創生応援税制である企業版ふるさと納税を活用した地域創生推進事業、「SCBふるさと応援団」を創設しています。

寄付対象事業の募集にあたり、当金庫は加古川市が行う地域創生事業「JR加古川駅周辺から加古川河川敷を一体とした「にぎわい」創出プロジェクト」を推薦しました。

これが2021年12月に寄付対象事業として選定され、2022年1月27日(木)、寄付金1,000万円が加古川市に寄付されました。